

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

## 自 己 評 価 票

取り組んでいきたい項目

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「安全・安心・快適に」をスローガンに掲げ生活の支援をしています。 重点目標を立てその人らしく生活できるように援助しています。		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を掲示し、いつでも見られるようにし意識しています。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	開所当時、地域、家族の方へパンフレットを配布し、説明しています。		
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近所の方とは、散歩の途中で立ち寄って利用者の方と会話を楽しまれたり、一緒に花植えや草取りをしています。 苗や野菜などを頂いたりし、気軽に立ち寄って頂いています。		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	小学校の運動会や、地区の運動会、公民館学級、村の夏祭り等、地域の行事に参加しています。	○	地域の方に参加していただける行事、夕涼み会や食事会等の計画、実施に取り組んでいきます。 また、ボランティアの受け入れを多くしたり、地域の方と日常的に行き来できる関係を作っていきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	実施には至っていません。	○	地域に貢献できる事は何かということを話し合い取り組んで行きます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今年度は外部評価を受けるための準備を目標にし、話し合いを十分行い取り組みました。	○	評価を受け結果を基に改善、見直しをしていきます。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では利用者の状況や行事等の実施報告を行っています。委員の方からも意見等頂いています。	○	沢山の意見をいただき、サービスの向上に活かしていきます。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	月1回地域ケア会議に参加し、情報交換しています。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	勉強会を行いました。現在はどちらも使っている方はいませんが、待機者の方では手続き中の方がいます。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会を行い、虐待防止に対する意識を高めるよう話し合いました。	○	今後も勉強会をしながら、虐待防止に対する意識を高めていきたいと思っております。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に十分説明をし、入居後も相談に応じています。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情窓口を設置しています。担当の職員以外にでも気づいたことは話していただくよう契約時に説明しています。面会時も意見を聞くようにしています。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	生活の様子、お小遣い帳、生活援助計画、生活チェック表を毎月送付しています。面会時には説明し確認印をもらっています。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等からの意見、要望等があったときは、その都度話し合っています。職員会議でも改善に向け話し合いをしています。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の職員会議で、意見を出し合う機会を設けています。年2回所長との職員個別面談を行っています。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の生活リズムに合わせて勤務時間を調整しています。	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開所1年ということもあり、異動はまだありません。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	現在も職員で担当を決め職場内での勉強会を行っています。また、法人内の研修会にも参加しています。	○	外部研修には出してもらっています。去年は開所年度ということもあり、外部研修には管理者が参加してきましたが、今後は多くの職員が参加できるようにします。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県のGH協会に加入しています。	○	他施設見学や情報交換の実習をします。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	無理な勤務体制にならないよう調整をしています。スポーツを通しストレスを発散する機会を設けています。		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	人事考課を取り入れています。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	常に会話を持ち、その方の気持ちを考え、把握するように努めています。その中で利用者の要望や訴えは本人が納得いくまで話を聴き受け止めるよう取り組んでいます。		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の方の要望については面会時や行事等のときや様子伺いの電話があった時に聞くようにしています。要望に応えられるよう、職員間で話し合い対応するよう努めています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	担当のケアマネージャとの連絡を密に取っています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に面接をし、顔見知りになるようにしており、利用前の見学もいつでもできるようにしています。外泊もしながら徐々に慣れていただくようにしています。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	生活の中で役割ができ、食事の片付けや洗濯物干しなど、一緒に行っています。 職員も利用者から学ぶ事が多くあり、支えあって生活しています。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話で利用者の様子を報告し、利用者、家族の関係を深められるようにします。夕涼み会などの行事では、家族の方にも参加していただき一緒に楽しむことができます。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人と家族のよりよい関係に向けた支援については、話をよく聴いていくようにしています。 本人との関わりが持てるよう、行事への参加、面会をお願いしています。 通院は全て家族さんへお願いしています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	買い物に出かけた際、知り合いの方に会い、会話をすることで喜んでいただいています。また、知り合いの方が面会に来てくださいます。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	お茶の時間には利用者同士の会話ができるように仲介をし、利用者同士のコミュニケーションを大事にしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所者はまだいません。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式のアセスメントを使用し、把握に努めています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式のアセスメントの他に、日常の会話の中からその方の生活の把握に努めています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日中の過ごし方については、本人の意向も取り入れ自由に過ごせるように対応しています。 日中の様子についてはケース記録や連絡ノートを活用し、情報の共有に努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族の方の希望を聞きそれを踏まえ毎月カンファレンスを行い、介護計画を作成しています。必要に応じ特養折爪荘の看護師や栄養士の意見も聞いています。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状況に応じ見直しをしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日中の様子についてはケース記録に記入しています。また、連絡ノートや日誌の活用を行い、情報の共有に努めています。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ショートステイやデイサービスは行っていませんが、本人や家族の要望により、自由に外泊や家族の方が宿泊できるよう柔軟な対応をしています。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	警察、消防へは緊急時の協力をお願いしています。行事の内容によりボランティアの協力もお願いしています。民生委員の方には運営推進委員をお願いしています。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在のところ、他のサービスを受けている方はいません。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	毎月1回行われる地域ケア会議に出席し情報の把握に努めています。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前のかかりつけ医を継続し、受診されています。通院については家族の方に対応をお願いしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	馴れ合いの言葉にならないように気をつけています。トイレ誘導時は周りに聞こえるような声で話さないよう努めています。また、着替え、失禁した衣類もバックに入れ周りの利用者には気づかれないように対応しています。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	起床、就寝時間は個々の様子を見ながら本人に任せたり声がけをし対応しています。また、着替えの衣類も本人と一緒に本人に聞きながら服を選んでいただくようにしています。水分補給も何種類か用意し、選択できるようにしています。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事の時間は決めています、個々のペースを優先しています。外出、ドライブ、面会の希望があればその都度対応するよう努めています。	○ 外出、ドライブについては通常の勤務体制で対応できないこともあるので、希望時対応できるように勤務職員間で利用者の動きに合わせて、その日の動きを変更していきけるようにします。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理容はなじみの店に行ったり、親戚の方が理髪をしてくださっています。自分でできる方は化粧をしています。	○ 普段化粧をされない方も出かけるときや、行事の際などには希望を聞き対応します。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材を取り入れたり、利用者から食べたいメニューを聴き、献立に取り入れています。食事の準備は利用者の方と一緒に楽しみながら行っています。食器洗いも利用者の方に手伝っていただいています。また、食事中は会話を楽しくするようにテレビは消しています。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	喫煙者はいません。飲酒については行事や希望があれば対応しています。毎晩のように晩酌をする方もいます。飲み物、おやつについては個人購入している方がいます。家族の方が好みのものを買ってきてくださいます。	○ 糖尿病の方や塩分、水分制限の方もいるため、見た目は他者と同じに見えるものでカロリーや塩分を押さえたおやつ選びや調理の工夫をします。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	定時誘導のほかに本人の訴えや、表情、仕草を観察し個々の排泄パターンの把握に努めています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	月～土曜日の午後帯に入浴を実施しています。予定や面会、体調など、その日によって入浴をしています。入浴時は会話を楽しめるようにしています。同性介護を行っています。	○	夜間の入浴の希望があれば取り組んでいきます。日曜日でも希望があれば入浴を実施していけるようにします。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	和室で横になる方、部屋で休息する方、その日その時により自由に過ごしていただいています。夜間は希望い応じ電気を明るくして休む方もいます。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人の得意なこと、興味のあること、できることを手伝っていただくようにしています。無理強いはずせずつくりできるよう支援しています。	○	空間作りに取り組めるよう努めていきます。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人で管理している人と、施設の金庫管理している人がいます。買い物に行った際自分でお金を払える方には会計をしていただくよう取り組んでいます。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の買い物、希望があればドライブ、散歩に行っています。折爪荘の行事への参加をしています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	毎月ドライブで遠出をしています。	○	家族さん参加の旅行を計画していきたいと思っております。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人から電話の希望があれば掛けられるようにしています。家族から電話があれば本人と話をしよう働きかけています。年賀状のやり取りをしています。	○	手紙を書ける利用者については手紙を書いていただき、毎月のお知らせと一緒に送付していきます。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間、面会場所は制限しておらず自由です。家族から希望があれば食事、宿泊も対応しています。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしていません。	○	今後も身体拘束はしないよう気をつけていきます。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけていません。外に出たことがわかるように玄関に鈴、センサーをつけています。夜間は安全確保のため、鍵をかけています。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員間で声を掛け合い、全利用者がどこにいるか、所在確認、見守りをしています。夜間は1時間おきに巡回を行っています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬、洗剤、薬品などは利用者の目の届かないところに保管しています。利用者の薬は本人の状態に応じて自己管理している方や預らせていただいている方がいます。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	利用者一人ひとりのカンファレンスを行い、状態の把握に努めています。ヒヤリハット、事故報告書を作成しその内容を検討して事故の再発防止に取り組んでいます。マニュアルを用意しています。	○	事故防止について勉強会を実施しマニュアルの見直しをします。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	折爪荘で行われる心肺蘇生法の研修に参加しています。 (年1回) 応急手当のマニュアルを用意しています。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難場所、誘導等についてのマニュアルを確認しました。	○	地域の方々への協力をお願いしていきます。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	一人ひとりの様子、状態について家族の方に報告し、その中で予測されるリスクについて説明しています。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェックを行い、顔色や表情など普段と違った様子が見られた際には、こまめに観察し職員間で情報を伝え共有しています。 必要時は家族へ連絡し、受診をお願いしています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者一人ひとりの薬の種類や副作用など理解できるよう説明書を綴っておきます。 服用時は本人のものか確認し誤薬のないようにしています。 また、薬の変更や追加があった際には連絡ノートを活用し把握しています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	自分でトイレに行っている利用者については排便確認ができないときがありますが、食事、水分摂取量に注意し適度な運動も行うよう取り組んでいます。	○	毎日下剤を服用している利用者があるため、食事、水分の工夫をし、自然排便できるように取り組んでいます。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食事前の嗽、毎食後の口腔ケアを行っています。歯磨きできない利用者は介助を行い、本人が十分磨けない部分についても介助を行っています。 ポリデントで週1回洗浄しています。 状態により歯科通院も家族さんをお願いしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分摂取量のチェックは毎日行っています。摂取量の少ないときには、補食、嗜好品で対応しています。咀嚼の弱い利用者は、お粥、刻み食で対応しています。	
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に対するマニュアルを用意し勉強会を行っています。インフルエンザの予防接種は家族の方をお願いして対応しています。	
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板、包丁はハイター消毒を行っています。また、週に1回食器類のハイター消毒も行っています。衛生管理チェック表で管理しています。毎食と手作りおやつの保存食を取っています。	○ 職員は毎月検便を行っています。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>			
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>			
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	利用者の方と楽しめるよう、ベンチを置いたり、テーブルを用意しています。	
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テーブルに花を飾っています。部屋には毎月オリジナルカレンダーを貼っています。季節に合わせたディスプレイや押し花を飾っています。希望があれば入浴剤を使用しています。トイレは汚す方も多いため、こまめにチェックし清掃をし清潔に努めています。	
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂にソファを置いたり。廊下にもテレビ、ソファを用意し、いつでも休んでいただけるようにしています。和室も自由に使っていただけるようにしています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	部屋に家族の写真を貼っている利用者もいます。ベット、家具類は自宅で使用していたものを持ってきていただき、配置も家族の方をお願いしています。随時必要なものは家族に連絡し、用意していただいています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	食堂、部屋に湿度・温度計を設置しています。加湿器も用意していただいています。換気はこまめに行っています。		
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かし、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	段差はなく、手すりがついているためつかまりながら歩行しています。廊下にソファを置いており、途中で休んでいただけるようにしています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かし、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	浴室、トイレにのれんを下げ、場所がわかるようにしています。居室にも表札を下げています。日めくりカレンダーを食堂に用意しています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関脇に畑を作り、利用者が畑仕事や草取りなどできるようにしています。また、外に物干し竿を用意し洗濯物を干せるようにしています。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)